

全国学調の結果から（速報） R7.7.15（火） 分掌部会用

【結果概要】 詳細な分析等は、これから研究部にお問い合わせすることになりますし、みんなで問題解いてみようもやってみたいところです。国語は、岩手県もがんばって全国比同等でしたが、本校は10ポイントも上回っています。算数は、岩手県去年も4ポイント近く下回り、今年も改善が見られませんでした。本校は県比で11ポイントも上回っています。理科も同様。

	国語	算数	理科
厨川小学校	77	65	65
岩手県（公立）	67	54	56
全国（公立）	66.8	58.0	57.1
県比	+10	+11	+9
全国比	+10.2	+7	+7.9

【質問紙と指標の達成度】

R7全国学調 厨川小調査結果概要（正答率%）

岩手県民計画第2期アクションプラン 指標	県目標値	厨川小	県比
将来の夢や目標を持っている児童の割合	83.6	87.2	+3.6
意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童の割合	82.5	83.0	+0.5
授業で自分の考えを深めたり広げたりしている児童の割合	83.0	91.5	+8.5
自己肯定感をもつ児童の割合	79.0	80.9	+1.9
毎日一定の時刻に就寝する児童の割合	85.0	82.9	-2.1
いじめはいけないと思う児童の割合	100	100.0	±0

R7全国学調 厨川小質問紙回答概要（肯定回答率%）

達成度の指標は、岩手県指導指針にも掲載されている、アクションプランです。去年の校報にも紹介したと思います。これまた、ほぼすべてにおいて満点回答です。特に嬉しいのは、ずっと100%に達成しなかった「いじめはいけないと思う児童の割合」。これは、いつでもこの数値を維持できるよう、全校で意識化していく必要があります。就寝時刻は、昨年度もマイナスでした。ままびフェストの項目でもありますから、2学期は、具体的な取組によって寝る時刻を皆で気を付けるようにしていきたいものです。

【確かな学力育成プラン】

本校の「確かな学力育成プラン」の指標でいくと、Aの積極肯定は38.3%（完全達成）、Bの積極肯定は57.4%（完全達成）ということで、プランの取組状況は十分達成と言えます。

令和7年度、学校全体で、各教科等で重点的に育成を目指す資質・能力	
A	自分の気持ちや考えを伝えあう力【思考力・判断力・表現力】
B	主体的にコミュニケーションを図る力【学びに向かう力・人間性等】
数値目標	
A	【全国学調】質問紙 話し合い活動で自分の考え深め新たな考えに気づく(積極肯定35%以上) 【県学調】質問紙 話し合い活動で自分の考え深め新たな考えに気づく(積極肯定35%以上)
B	【全国学調】質問紙 友達や周りの人の考えを大切に課題解決を図る(積極肯定45%以上) 【県学調】質問紙 自分と違う意見について考えるのは楽しい(積極肯定30%以上)
C	【CRT】学力検査 到達度目標 二観点105 学ぶ意欲 100

【まなびフェストの指標】 わかる授業の展開と主体的学習について

全国学調の質問紙項目において、「(38)先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」を指標として、積極肯定60%を掲げています。これに対して、令和7年度は57.4%でした。若干下回りますが、おおむね達成とみてよいと思います。「思う」の肯定回答も含めると、87%になります。学校の取組の成果が、こうした諸調査で良かったと確認できました。日々の指導に自信を持ちましょう。子どもたち、確実に力をつけています。